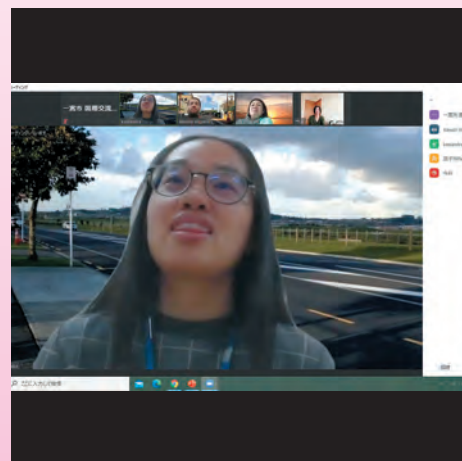
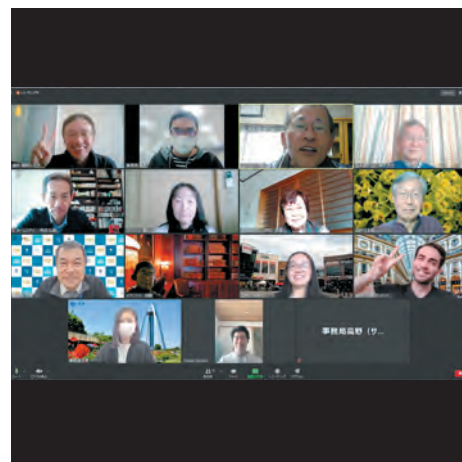


かけはし

2021
Vol.87
March



2020年度の協会
の行事は、You
TubeやZoomも
取り入れて実施
しました。

1月18日(月)に神山公民館大会議室で国際交流協会のボランティアを対象にしたZOOM講習会が開催されました。

講師は協会ボランティアグループ国際理解教育ファシリテーター「ファシ138」の田中康治さんが務めました。田中さんはコロナにより居住地の長野県からの移動が制限されたため、オンラインで講習を進めることになりましたが、会場では協会の事務局員3名が参加者をアシストして順調に進みました。

講習会は13:30からスマホ編、15:30からパソコン編、各1時間の2部構成の開催でした。参加者は各自スマホやパソコンを持ち込み、スマホ編は4名、パソコン編は7名の参加でした。2名の方は引き続き両方に参加し、熱心に操作に取り組んでいました。

講習内容は、まずZOOMのダウンロード、アカウントの登録を行い、ミーティングの主催者になる方法を学びました。次に招待されたミー

ティングに参加する2通りの方法を使って、実際に参加することを経験しました。同じ部屋にいると音声ハウリングを起こ



してしまうため、参加者同士の会話はできませんでしたが、参加と退出の手順を繰り返し、随分操作に慣れたものと思われました。

最後に実際にミーティングに参加して話し合う機会として、お試し会の案内があって講習会が終わりました。

本講習はコロナ禍の中、対面の活動が制限されても、ボランティア同士の意見交換、オンラインの日本語教室(日本語ひろば)の開催に向けて試してみるなど、今後のボランティア活動の幅を広げるためのインフラを構築する重要な意味があると思いました。(荒楠)

ボランティア交流会@オンライン

オンラインミーティング 2.7

国際交流協会では毎年、ボランティアが集まりボランティア同士の交流を深める「ボランティア交流会」を行っています。ところが、昨年から続いているコロナ禍。その感染拡大の対策としてウェブ会議サービスを使ってオンライン交流会が開催されました。

交流会は午前と午後、参加希望者がそれぞれ都合の良い時間帯を選択し参加するというやり方。事務局含め午前の部には10人、午後の部には14人が参加しました。

事務局からウェブ会議サービスの簡単な解説やオンライン開催になった経緯の説明、システムに慣れるための簡単なゲームなどで始まりました。今年度の事業報告も、その多くがオンライン開催や中止になったという説明は今年ならではです。

その後、本題となる来年度の協会事業についてのディスカッションが始まりました。参加者の誰もがウェブ会議に慣れていないため、発言のタイミングが解らないとか、操作間違いでも笑いが起こり盛り上がることもありました。オ

ンラインとは言え充分コミュニケーションはとれているようですね。

コロナ禍でもできる

国際交流事業についての意見交換も活発に行われました。アウトドア開催での可能性とか、オンライン開催することへの意見聴取アンケート、ウェブ会議サービスを実地練習できる場も必要などの意見が出ました。

その中で、コロナ禍で職を失ったり生活に困窮した外国人への実質的なサポートも出来れば、という意見も印象に残りました。

今年はゲストもアトラクションも無かったものの、ボランティア同士の考え方を知ることができる有意義な交流会でした。

(you都市)



水と芸術のまち 友好都市「トレビーズ」 フレンドシップフェスティバル・オンライン

YouTubeで4月末まで公開中

国際交流員のアレッシオさんが、一宮市の友好都市トレビーズをYouTubeで紹介しました。

2005年に開催された愛知万博でイタリアのホストを務めたのがきっかけで、その後もお互いの繊維・ファッションという共通性から、トレビーズ大学学生招致事業や、小学校同士の絵手紙交流事業での交流を通して、2013年には両市の友好都市協定へと繋がり、トレビーズ市で協定調印式が行われました。両市長が日本語とイタリア語で調印、一宮市初の友好都市誕生の瞬間でした。その年の8月から毎年、市内の中学生派遣団がトレビーズ市に出かけております。

トレビーズは、イタリア北東部に位置し、ヴェネト州トレビーズ県の県都です。人口8.6万ほどの街で、歴史的な街でありながら観光客が少なく、落ち着いた街です。街の中心部に沿っ

て運河が流れており、そこには、木製の水車がある田園的な風景の素敵な街です。

中世のトレビーズ中心部は頑丈な城壁に囲まれていましたが、現在では昔の城壁は存在していません。ただ、気持ちよく散歩出来る場所が存在しています。一度出かけて散歩してみてください。

トレビーズの中心部は、歴史ある建物ばかりです。中世の雰囲気や当時と変わらず保っています。街の歴史的建物のポDESTA宮殿・チヴィカ塔・トレチェント宮殿は全てシニオーリ広場に面しています。特産品には、

和訳すると「私を引っ張り上げて下さい」という意味の美味しいケーキ“ティラミス”、絵画に花として描写されることもある、野菜の“ラディッキオ”があります。

トレビーズは、街中を運河が流れ、その水の豊かさ、歴史に囲まれた穏やかな街で、お勤めできる素晴らしい街です。(佐野)



【フレンドシップフェスティバル・オンライン】再公開のお知らせ

一宮市国際交流協会の公式YouTubeチャンネルで、2月末まで期間限定で公開していたフレンドシップフェスティバル・オンラインについて、好評につき4月末まで再公開することとなりました。見逃してしまった方もこれを機に是非ご視聴ください。

■期間：4月30日(金)午後4時まで ■視聴方法：以下のQRコードから各動画にアクセス



【自宅で楽しむイタリア音楽文化】
～アコーディオン編～

出演：アンジェロ アクィリーニ
内容：アコーディオンの豊かな音色を通じてイタリア音楽を体験できます。



【自宅で楽しむイタリア音楽文化】
～バイオリン編～

出演：サルヴァトーレ ピューディスカルツィ
内容：バイオリンの透き通った音色で、映画音楽等の馴染みのあるイタリア音楽を楽しめます。



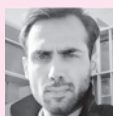
【自宅で楽しむイタリア音楽文化】
～ギター編～

出演：ラファエル シニア
内容：様々なテンポのイタリア音楽をギターで演奏します。



【水と芸術のまち 友好都市「トレビーズ」】

出演：国際交流員 ヴィニエラ・アレッシオ
内容：トレビーズ市の概略や文化などを、イタリア出身の国際交流員が紹介します。



料理ボランティア スキルアップ講座

向山公民館 料理実習室 11.10

日本ベトナム友好協会 愛知県連合会事務局 局長 早川 静泰 氏、次長 内藤 豊 氏

晴れてはいたものの少し肌寒い晩秋の中、向山公民館に協会親善ボランティアクッキング班員10名が集まって、ベトナム料理の研修会が開催されました。本研修は12月1日に実施の「シンチャオ！ベトナム料理セミナー（@神山公民館）」の予行演習を兼ねていて、クッキング班員がなじみのないベトナム料理に挑戦しました。

開始予定時刻前に全員が揃ったので、研修も早く始まりました。この日の講師は、日本ベトナム友好協会愛知県連合会からお招きした早川静泰氏と内藤豊氏の両氏が務めました。

まず、早川氏からベトナム社会主義共和国の地理・文化・歴史の説明がありました。ベトナムと日本は意外に近く、江戸時代やそれ以前から交流があったことが紹介されました。食べ物も日本に似て醤油があるものの、材料は大豆ではなく魚であるなどこれから始まる調理に興味津々になりました。

この日の料理は、バインセオ（お好み焼き）、ゴイクン（生春巻き）、そしてチャー（タピオカゼンざい）でした。これら3種の料理は、順番にではなく同時に進行し、参加者は4班に分かれて準備された材料を使って料理が始まりました。

バインセオの材料は、米粉、ココナッツミルク、ターメリック、豚肉、エビ、万能ねぎ、シメジ、長ネギ、もやし、レタス、ドクダミなど種類が多く、今まで見たこともない材料もあって、切ったり刻んだりするときに、出来上がりをイメージできない参加者は不安な顔をして調理に取り

組んでいたように見えました。

タピオカゼンざいは、タピオカにゆであずきとココナッツミルクを混ぜて煮込むだけなので今回の料理の中では一番簡単なものではありませんでしたが、パールタピオカはなかなか煮えなくて時間がかかっていました。

始まって3時間後には料理も出来上がり、昼食を兼ねて試食をしました。野菜たっぷりのベトナム料理を3種類のつけダレで食べましたが、味が薄く物足りなさを感じました。その分健康には良さそうで、日本人にも向いていると思いました。最後にタピオカゼンざいのデザートを味わって、リッチな気分になったところでこの日の行事はすべて終了しました。

今回参加したクッキング班の皆さんは、ベトナム料理を一度経験したことにより、次の機会には手際よく調理できることでしょう。（荒楠）



シンチャオ！ベトナム料理セミナー

神山公民館 料理実習室 12.1

私たちに日頃馴染みの少ないベトナム料理と文化を学ぶセミナーが開かれ、男女7名の参加がありました。

いつものセミナーと違って、料理教室の入口で、検温を受けてから次に手をアルコール消毒して入室。新鮮な空気が入るよう、部屋も窓や扉は開放したままでコロナ対策がとられていました。参加者と講師も全員マスク着用、手洗い、食事での会話はしないなど、コロナ対策の諸注意からセミナーがスタートしました。

内藤先生から、今日のセミナーの表題にある“シンチャオ”は、「おはよう」、「こんにちは」という意味で、とても便利で良く使う言葉ですから覚えてください、というお話から始まりました。今日は、「パインセオ」（お好み焼き）、「ゴイクン」（生春巻き）、「チャー」（タピオカ入りぜんざい）の三品をつくります。

最初に料理の説明と作り方について説明があり、調理実習がスタートしました。料理初心者の方でも安心できるよう、各テーブル毎に、1名ずつ料理アシスタントボランティアがついてくれました。

料理は準備や寝かす時間が必要だったりするので、料理三品の同時進行で結構目まぐるしく調理作業が進められて行きます。チャーに加えるタピオカは透明になるまで30分間ほど煮続けなければなりません。ぜんざいに似て、ゆで小豆にココナツミルクが入っているので、アジアンテイストの香りを醸し出しています。パインセオは日本のお好み焼きのようですが、ターメリックが入るので少し黄色味をしています。豚肉、小エビ、ねぎやもやし、卵など、かなり具たくさんです。お好み焼きにくらべてふ厚くて、みなさん形くずれしないように慎重に焼いていました。ゴイクンは、湿らせたライスペーパー

でエビや豚肉と細切り野菜などを一緒に巻くのですが、皮を破らないように巻くところが難しかったです。

料理ができあがると、試食をしながら早川先生からベトナム文化について学びました。「人口9,646万人、日本から南へ約4,000km離れ、南北に約2,000kmもある細長い国です。そのため気候も南は熱帯、北は四季のある亜熱帯と違います。多民族国家で54もの民族と一緒に暮らしています。その昔、中部のホイアンには日本人町があり、日本と交流がありました。役者の杉良太郎氏が作った日本語学校は人気があるそうです。日本にもとても友好的で、村山元総理が同国を訪問してからさらに両国の関係は進化し、菅総理も就任早々訪問しています。街の建物はフランスの影響を受けたものも多く、他のアジアの国と異なっています。ベトナムビールの「333」もその影響を受けた一つだそうです。アジアの二輪車大国でもあり、町中には日本メーカーの二輪車がたくさん走っていて、とても活気に溢れた平均年齢30歳の若い国だそうです。在日ベトナム人は約30万人、愛知県に約4万人、一宮市には約1,200人が暮らしています。ベトナムは結構日本や私たちと身近で関係が深い国だったのです。今まで、あまり知らなかったベトナムの歴史やことは、日本との両国の長い友好関係も知りました。

今日のベトナム料理は一般的な家庭料理でよく食べられ、各家によって材料や味がいろいろ違っていたりするだそうです。晴れて風もなく暖かくて穏やかな日に恵まれながら、ボリュームたっぷりのベトナム料理をおしゃべりせずに試食する、静かなベトナム料理セミナーでした。
(ドリアン)



イタリア語、どこで生まれたの？

YouTube 動画公開 2.19

新型コロナで、緊急事態宣言中のためYouTubeでイタリア文化理解セミナーを配信することになりました。

今回の講座は、イタリア語の言語としての成立についての話でした。

その起源はラテン語で、昔ラテン語は知識人の使う言語でした。近年までイタリアは、いくつもの小国家でできていて、一般の市民は難しいラテン語より話しやすい複数の民衆イタリア語を使っていました。それまで文学はラテン語で書かれていました。ところがダンテ アリギエーリは、フィレンツェを舞台にした文学作品を、民衆イタリア語で書き世に出しました。ダンテが書いた「神曲」は、大ヒットとなりました。その民衆イタリア語はフィレンツェの言葉で、それから長い年月を経て、イタリアが統一され、現在のイタリア語となって行くのでした。ダンテが、イタリア語の父と呼ばれるようになった由来でした。

今回のセミナーを聞いて、文化、歴史、芸術、哲学などの世界でも多く使われているイタリア語の複雑な歴史を知ることができました。



最後は、イタリア語の紹介で締められました。こんにちは、buongiorno (ボンジョルノ) 私の名前は～、Mi chiamo～ (ミキャモ～) 宜しくお願いします、Piacere di conoscerti (ピアチェーレ ディ コノシェルティ)

YouTubeでは、ダンテの「神曲」地獄篇の一部をアレッシオさんが、歌うように朗読しています。ぜひ協会公式YouTubeチャンネルにて実際に聞いてみてください。

(みかん)



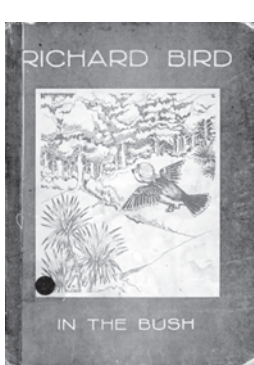
アクセスはこちらから

ニュージーランド絵本の読み聞かせ Richard Bird in the Bush ～自然界に飛び込もう！～

YouTube 動画公開 2.19

このコロナ禍、YouTubeを使う新しい国際交流です。

一宮市国際交流員のカサンドラさんが、主人公のリチャードバードの探検記の絵本の読み聞かせを英語と日本語で行い、YouTubeにアップしたものです。絵本の中では、可愛いシルバーアイのお嬢さんと森を飛び回り、森の住人から、彼を歓迎するパーティーを開いてもらい、そこに集まった鳥仲間とおしゃべりを楽しみ、冒険を終え、自分の巣に戻るまでを楽しく読み聞かせてもらいました。探検に関わった鳥は、ニュージーランドを代表する、目の回りが白く小さいシルバーアイ、



ベルバード、飛べない鳥の代表であり固有種のキーウィ、プケコ、ウェカなどです。

そして、ニュージーランドが、8500万年前から

隔絶された地で天敵がいなかった為に、その進化は独特です。鳥達の寿命は長く、



飛ぶことをやめ地上で生活する道を選んだり、繁殖速度も遅く、産む卵も少なく、卵も大きいことなども紹介。ただ、1000年前に人間が入ってきたことにより状況が一変、独特の進化が鳥たちの絶滅に向かわせてしまっています。

読み聞かせを通して、魅力ある自然と大地と、独特な種の鳥や動物を知りました。

コロナ終息後には訪れたい国、ニュージーランドとなりました。

今もこのYouTubeページは見る事が出来ます。一度視聴して下さい。(佐野)



アクセスはこちらから



おとなりさん



ベトナムから2年半前に来日したグエン・ティ・フエさんをご紹介します。フエさんは、ベトナム北部のハノイ市東南部のナムディン出身です。家族はご両親のほか姉・妹がひとりずつの三姉妹で、皆さんは故郷で暮らしています。彼女は、あまり細かいことを気にしないマイペースなところがありますが、いつも笑顔を絶やさないうるさな女性です。

フエさんは高校卒業後ハノイの人材派遣会社の教育訓練センターで日本語を7か月勉強してから来日し、日本でも1か月訓練して仕事につきました。いま一宮市内の精密部品メーカーで働いていて、会社の寮でベトナムから来た仲間と一緒に暮らしています。

彼女は日本語を上手に話せますが、もっとうまくなりたいと思い一宮市国際交流協会主催の無料日本語教室日本語ひろばに参加しました。あいにくコロナウイルスの感染拡大でひろばが休みにになってしまい残念ですが、日本語能力試験にも挑戦しています。

日本の気候は、夏暑くて冬は寒いのでベトナムの方が暮らしやすいかなと言い、一宮は物価が安くて暮らしが楽だと思っています。日本の食べ物では、牛丼が大好きですが、梅干し、納豆、生卵は苦手な食べられないようです。

日本国内は京都に行ったことがあり、金閣寺や本願寺を見てきましたが、時期的にあまり出かける機会がなかったようです。東京と大阪はぜひ行ってみたいと言っています。雪も見たいと言うので、立山の雪の大谷も見せてあげたいと思いますが、旅行はコロナが収まらないと難しいかもしれませんね。

フエさんは今年8月で来日して3年が過ぎるので、ベトナムに帰国する予定です。その後再来日してあと2年は日本で働きたいと言います。最終的に帰国した後は、故郷で自分の店を持つことを夢に持っています。人生設計はしっかりできているようです。まだ20代半ばなので時間は十分あります、ぜひ夢を実現してほしいですね。

(荒楠)

iia information

初挑戦！イタリア語講座

初心者向けのイタリア語講座です。イタリア語を学びながら、イタリアの文化を学べます

日にち：5月10日、17日、24日、31日
6月7日、全て月曜日・全5回

時間：午後2時～3時30分

会場：本庁舎会議室

講師：国際交流員 ヴィニエラ・アレッシオ

受講料：2,000円（教材費含む）

定員：20名（抽選）

申込み：4月19日までに

一宮市国際交流協会へ



※令和3年度予算成立が条件です。

*iiaでは、協会事業を支える国際交流基金への寄付を募集しています。また、一宮市の国際交流の中心となって活躍いただく親善ボランティアも随時募集しています。詳しくはiia事務局までお問い合わせください。

iia Facebookページ

イベントのお知らせや、外国人のみなさんに役立つ情報を多言語で発信しています。

Multilingual posts about event notices and helpful information for foreign residents.



iia公式YouTubeチャンネルを作成しました

イベントやセミナーの様子などを配信しています。

是非チャンネル登録してください。



カナダ ケベック州 初めての海外生活

中島 克己

とても古い話です。1986年にカナダのケベック州にある、当時、自分の会社が技術援助契約を結んでいた現地企業に1年間出向しました。グローバル人材の育成を目的とした研修でしたが妻も同行しました。

住んでいたのは、ケベック州最大の都市モントリオールから東へ約160kmにあるシェルブルック市。当時の人口は約12万人で、街はまるで映画に出てくるような美しい古いフランスの街並みのようでした。ご存知の通り、ケベック州はフランス語圏であり、住んでいたアパートには40世帯以上住んでいたのですが、英語を話せる人はたった3人のみでした。他は全てフランス語。管理人夫婦は英語を話せたので全く問題なく、珍しい日本人が住んでくれたということで、すごく親切にしてくれました。なぜ珍しい日本人かという、実は当時シェルブルック市に住んでいた日本人は、他にはもうひと家族だけだったのです。

人々はみんなフレンドリーで、アパートに引っ越したすぐ後に、お隣さんが tourte à la viande (ミートパイ) を作ったからと持ってきてくれました。肉のパイって何？と想像がつかなかったのですが、食べてみたら美味しかった事を覚えています。お返しに妻が作ったお好み焼きをあげたら、美味しいとすごく喜んでくれました。このお好み焼きはその後も現地の他の人たちに「ジャパニーズピッツア」と、とても評判でした。

シェルブルックではよほど日本人が珍しかったようで、ある日、東洋の寝具やインテリア用品を扱っている店のオーナーがアパートにやってきて、日本語の看板を作りたいから「Bienvenue!」と日本語で書いてほしいと頼られました。そこで「ようこそ!」と縦に書いてあげたら、それ以降その看板が店の入口に飾ってありました。オーナーがとても喜んでくれたし、いい事をしてあげたようで嬉しかったです。

またある日、日系H社のバイク専門ディーラーからCMに出てくれと依頼があり出演しました。撮影場所はそのディーラーで、販売しているバイクの性能等に関する客からの電話問合せに対応するというシチュエーション。原稿はフランス語だったので、英語に翻訳してもらい、それを日本語に直して喋りました。それから、毎日数回TVでそのCMが流れ有名人に。会社でもムービースターとはやしたてられました。現在の某TV番組に取り上げられている、日本では全然誰も知らないのに、現地では有名な日本人って感じですかね。とても面白い経験をさせてもらいました。



編集後記

日本に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が入ってきて、私の生活もWith CORONAで少し不便ですが、よい事もあったように思います。なぜなら、私はこの一年以上まったく風邪等に罹っていないのです。昨年はじめから、外出時にはマスク、手洗い、お店のアルコールで手の消毒、たまにうがいを心がけ、その効果が出ているように思うのです。今はワクチン接種を待ちながら、7月のオリパラ開催を楽しみにしているこの頃です。(ドリアン)

発行 一宮市国際交流協会 (〒491-8501 一宮市本町2-5-6 一宮市生涯学習課内)

※令和3年4月から商工観光課内に事務局を移転します。

ご意見・ご感想お待ちしております 【TEL:0586-85-7076 E-mail:kokusai@city.ichinomiya.lg.jp】

当協会に関する情報はウェブサイト・Facebookページもご覧ください

【WEB:<https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/iia/> Facebook:<https://www.facebook.com/iia138>】

*この「かけはし」は、協会ボランティアにより取材・編集されています。

みなさんも国際交流協会親善ボランティアに参加しませんか?お気軽にお問い合わせください。